

道徳の時間学習指導案

指導者 二井谷栄恵

1. 学年 年 第1学年1組 33名
2. 日時 平成17年6月23日 (木) 第5校時 1年1組教室
3. 主題名 ものをたいせつに 1ー(1)
4. 本時のねらい

あつちやんがクレパスに話しかけるときの気持ちを考えることを通して、身の回りの物に愛着心を持ち、大切にすることを育てる。

5. 資料名 おにいちやんの おふる (学校図書)
6. 主題設定の理由

○ 基本的な生活習慣をしつかり身につけるということは、子どもの人間形成において極めて重要なことである。特に小学校に入学した子どもたちは、さまざまな生活を送る中で、物を大切にすること、身の回りを整えることを身につけていかなければならない。

低学年では、基本的な生活習慣を身につける場合、単なるしつけではなく、子ども自身が内面から物を大切にすることが自分のために望ましいと自覚し、節度ある生活態度や自制心が培われるよう指導していかなければならない。

しかし、生活の中に物があふれていることや少子化などによりやらなければならないことを周囲が手助けしすぎて自分がやらなければならないことができなくなっている現状がある。また、物を与えすぎてしまうことで、最後まで使わない、すぐに飽きる、整頓ができないという現状も見られる。そこで、自分自身の身の回りのものを自分から大切にし、整頓しようとするとともに、物に対する愛着心も育てていきたい。

○ 小学校に入学して、2ヶ月あまりがすぎ、子どもたちは学校生活にやっとなれたところである。入学に当たって子どもたちは、新しいランドセル、新しい学用品などを買ってもらってとても喜んでいいる。

その買ってもらったばかりの学用品を大切にしているかというアンケートを行ったところ、学用品(えんぴつ・消しゴム・下敷き・教科書・ノート)を大切にしているかという問いには、大切にしているが27人、わからない・していないが6人であった。分からない、大切にしているのはどうしてかと聞いたところ、消しゴムをちぎっている、鉛筆をかんんでいる、自由ノートをやぶっていることであった。

ほとんどの子どもが、物を大切にしているという思いを持っている。しかし、大切にしているという子どもの中にも実際には、消しゴムをちぎったり、鉛筆をかじったり、ノートを破ったりする子どもが見られる。また、鉛筆やハンカチなどが落ちていても自分のものかどうか確認しようとする気持ちがない子どもが目立つ。学用品に限っては、ほかのものより学習に必要なものであるため、すぐに買ってもらっている。消しゴムもまだ使えるものであるにもかかわらず、新しいものを買ってもらい筆箱の中にくっつか入っているにもかかわらず、新しいものを買ってもらい

筆箱の中にかくつか入っていたりする現状がある。これらのことから、子どもたちの思いと行為には、ずれが大きいと考える。

そこで、本学級では、毎日使う身の回りのものに愛着心を持ち、大切に使うということを考えさせていくとすることが必要である。

- 本資料は、あつちやんがおにいちゃんのおふるのクレパスをいやいや学校にもつていく。あつちやんは、恥ずかしい思いをすと思っていたのだが、先生や友だちにほめられる。そして、おにいちゃんのお古のクレパスを大切に使うとうとする内容である。

指導に当たっては、中心発問を効果的にする基本発問において、「先生や友だちにほめられてどう思ったでしょう。」と問い、恥ずかしい思いをすと思っていたあつちやんの気持ちの変化に共感させていきたい。そして中心発問において、「あつちやんはクレパスになんと言っているでしょう。」と問い、あつちやんがクレパスに話しかける役割演技をすることにより、あつちやんの思いを考えさせ、ねらいに迫っていきたいと考える。

自分の生活を振り返る場面では、粗末に扱われたえんぴつ、消しゴム、ノートに向かって話しかけることにより、さらに価値を深めて行きたい。

7. 準備物

挿絵・ペーパーサート

8. 活動の流れ

	学 習 活 動	主 な 発 問 と 予 想 さ れ る 児 童 の 反 応	留 意 点
<p>導 人</p>	<p>1 歌を歌う。</p>	<p>「帰りの会のサンバ」を歌いましょう。</p>	<p>○たのしい雰囲気作りをする。</p>
<p>展 開</p>	<p>2「おにいちゃんのおふる」を聞いて話し合う。</p>	<p>「おにいちゃんのおふるでがまんして。」と言われた時、あつちゃんはどう思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のクレパスがほしいな。 ・新しいクレパスがいいな。 ・どうして、買ってくれないんだろう。 ・お兄ちゃんのお古なんていやだ。 <p>友だちが新しいクレパスを見せて合っているのを見て、あつちゃんは どう思っているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいクレパスでいいな。 ・自分だけお古でいやだな。 ・見られたらはずかしいな。 <p>先生や友だちにほめられて、あつちゃんは どう思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほめられるとは思わなかった。 ・笑われなくて、よかった。 ・ほめられてうれしいな。 <p>「クレパスさん。」と言った後、あつちゃんはクレパスさんになんと話しかけてるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほめられてうれしかったよ。 ・いやだななんていってごめんね。 ・お古でも使うよ。 ・ずっと、大切に使うよ。 <p>○○に話しかけてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごめんね。 ・ちぎったりしないよ。 ・大切に使うよ。 	<p>○おにいちゃんのお古はいやだというあつちゃんの思いを感じ取る。</p> <p>○はずかしくて、悲しい思いになるあつちゃんの気持ちを感じ取る。</p> <p>○あつちゃんの、物の価値に対する気持ちの変化に共感させる。</p> <p>○今後、あつちゃんが物を大切に使うとする気持ちを取り入れとらえさせる。</p> <p>○自分の身の回りのものについて考えさせる。</p>
<p>終 末</p>	<p>4 教師の説話</p>	<p>物を大切にしたら経験を話す。</p>	<p>○余韻を残して終わらせる。</p>